

H31 1 1

【出題の趣旨】

図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができるかどうかをみる。

【完答】 <資料2>2
<資料3>4

【予想される誤答】 1 3 4 5
1 2 3 5

高橋さんは、「報告する文章」でA資料2VとA資料3Vを、それぞれどのような目的で用いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から5までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 現在と過去の様子を並べて示し、二つのちがいを伝えるため。
- 2 内容ごとに分類して示し、大まかな特ちょうを伝えるため。
- 3 年度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。
- 4 記号や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。
- 5 説明したい場所やものを写真で示し、実際の様子を伝えるため。

【予想される誤答の主な原因】

- 問いの内容を理解できていない。
- 一部の言葉だけで判断し、内容を正しく理解できていない。
- 報告する文章を書く経験が少なく、資料を用いた目的を理解できていない。
- それぞれの資料の見出しや内容を正しく読み取ることができていない。
 - 1 ⇒「現在と過去」「二つ」という言葉が、どちらの資料にも当てはまらないことを理解できていない。
 - 3 ⇒「年度」という語彙を知らない、または資料2と資料3は年度ごとに書かれていないことを理解できていない。
 - 5 ⇒「写真」と「記号」「印」などの語句が混同している。

【指導のポイント】

- 資料を用いる目的を理解させるために、【報告する文章】の見出しやキーワードとなる語に着目させながら内容を正確に読み取らせる。
- 報告する文章などを書く活動を取り入れ、引用したり図表やグラフなどを用いたりして、伝えたいことを整理して書く機会を増やす。
- 読書をはじめ、文学的文章や説明的文章を読むなどあらゆる機会を通して日頃から語彙を増やしていく。

【過去の関連問題】 平成28年度全国学力・学習状況調査B 2 平成25年度小学校全国学力・学習状況調査A 4

H31 2 1(1)

【出題の趣旨】

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらいよむことができるかどうかをみる。

【正答】 3

【予想される誤答】 1 2 4

宮原さんは、「資料」を読み、ノートにまとめています。次の(1)との問いに答えましよう。
(1) アートの一部のアには、疑問に思ったこと①の答えになる内容が入ります。その内容として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 水分が多くなり、食べ物がくさりやすくなるから。
- 2 細菌が増え、水分を蒸発させることができるから。
- 3 水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。
- 4 細菌が減り、水分を増やすことができるから。

【誤答の原因】

- 問いの内容を理解できていない。
- 疑問に思ったこと①の答えが資料の「保存のふしぎ」に書かれていることに気づくことができていない。
- 疑問に思ったこと①の答えを資料の「保存のふしぎ」の内容から正しく読み取ることができていない。
 - 1 ⇒疑問に思ったこと①に対する答えになっていない。
 - 2 ⇒塩づけにしたり干したりして保存できる理由ではない。
 - 4 ⇒「水分が少なくなれば細菌は増えにくくなる」ことを捉えることができていない。

【指導のポイント】

- 資料とノートを関連づけて読ませ、問いを正しく捉えさせる。
- 資料に書かれている内容の中心となる語や文に線を引かせながら要約させ、内容を正確に読み取らせる。
- 複数の資料や本を活用し、比べたり補ったりしながら読んだり書いたりする学習を仕組む。その際、学校図書館なども積極的に活用し、自分で選書する機会を設ける。

【過去の関連問題】 平成30年度全国学力・学習状況調査B 3 二 平成28年度全国学力・学習状況調査B 3 三

○ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

【正答例】
特に、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと、ちよう戦し続けているところが心に残りました。

○ インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
○ インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
○ 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。インタビューの様子】の「イ」に入る内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

【予想される誤答の主な原因】

- ・【広報誌の記事】や【直接聞いてみたいこと】などから考えを作っている。つまり、問題文全ての中で自分が印象に残ったところから考えを作っており、問われていることを理解できていない。
- ・大谷さんの仕事に対する思いや考えを理解することができていない。
- ・自分の考えにつながる発言を見つけることができて、書きまとめることができない。または、字数制限に合わせてまとめられない。

話し手の意図を捉えながらインタビューしたことをもとに、自分の考えをまとめる授業

インタビューをさせてもらった大谷さんに、あなたなら最後に何といえますか。

お礼を言う。

そうですね。では、お礼を言う前に、あなたは、インタビューをした感想を伝えようと思いました。条件に合わせて言うなら、あなたは何と言いますか。書いてみましょう。

「思いや考えが分かりました。」と言っているから、どんな思いや考えかをくわしく言えばよいかな。

「心に残りました。」という文末にすれば伝わるかな。

Point 学んだことや考えたことを使って条件に合わせて「書く」活動を設定することで、児童の学びを自覚させます。

インタビューの様子を再現してみましょう。先生が大谷さんになって答えますので、みなさんは、岸さんになって先生にインタビューしてみましょう。

Point 学習の目的に合う言語活動を設定したり、イメージした言葉と実際の言動を比べたりすることで児童の学習への理解を深めることができます。

インタビューをして、大谷さんのどんなところが達人だと思いましたか。

全て一点物の畳を作っているところ。

機械を使わずに手作業で仕上げているところ。

親方から直接教えてもらったのではなく、仕事ぶりをよく見て身につけたところ。

教えてもらわずに見て学ぶなんて、腕のみがき方がすごいなあ。

50年も職人をしているのに、いまだに完璧だと思わず、次こそはいいものを作ろうと挑戦し続けているところ。

大谷さんの腕の磨き方や仕事への思いを引き出すために、岸さんは言葉を選んでインタビューしていますね。

「仕事の達人」とは、どのような人だと思いますか。

その仕事ですごい技術をもっている人のことだと思う。

「〇〇名人」というように、達人もその仕事のベテランなんだと思う。

では、岸さんの町の広報誌を読んでみましょう。「わが町の達人」ということで畳職人の大谷さんが紹介されています。あなたは、大谷さんのどんなところが達人だと思いますか。

Point 「達人」という言葉に対する印象や似たような言葉とつなげて想像を膨らませることで、達人として紹介されている人に関心をもたせ、本時のめあてを明確にします。

終末

展開

導入

